

氏名	中村裕美	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	作業療法理論, 高齢期作業療法学, 地域作業療法学				
学位	博士				
学歴	1987年現信州大学医学部保健学科作業療法専攻(旧信州大学短期大学部作業療法学科)卒業 2004年東京都立保健科学大学(現 東京都立大学)博士前期課程保健科学研究科修了(修士第24号(作業療法学)) 2009年首都大学東京(現 東京都立大学)人間健康科学研究科人間健康科学専攻作業療法科領域 博士号取得(健博第10号, 首都大学東京)				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科講師 2011年埼玉県立大学大学院博士前期課程リハビリテーション学専修特別研究補助指導教員 2013年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科准教授、埼玉県立大学大学院博士前期課程リハビリテーション学専修特別研究指導教員 2014年埼玉県立大学大学院博士後期課程指導教員 2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科教授				
所属学会(役職)	QS Intelligence Unit for QS World University of the annual QS Global Academic Survey (Reviewer), British Journal of Occupational Therapy (Editorial board member), Gerontological Occupational Therapy in Frontiers group (editorial board member), The Royal College of Occupational Therapist annual congress and expo (Reviewer), The Evaluation and the Health Professions (Reviewer), Health and Quality of Life Outcomes (Reviewer), BMC Nursing (Reviewer), MDM Policy and Practice (Reviewer), Journal of Child and Family Studies (Reviewer), BMC Psychology (Reviewer), Work: A Journal of Prevention, Assessment and Rehabilitation (Reviewer), Occupational Therapy International (Reviewer), Frontiers in Rehabilitation Science (Reviewer), Newcastle University (post-doctoral supervisory role), Yonsei University, Yonsei University (OT BK21 mentoring board), Asia Pacific Occupational therapy Congress (Reviewer), Japan Journal of Nursing Science (Reviewer), 日本作業療法士協会学術誌作業療法(査読委員), 日本作業療法士協会学術集会(演題査読委員), Griffith University (A member of the working group, Client-centered practice model)				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Factors influencing junior high school students' perceptions of attending school in Japan	共著	あり	○ Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health (IF7.4)	<u>Nakamura-Thomas H</u> , Sano N, Maciver D	2023July
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	中学校の通学認識に関連する要因の探索的解明: 6429名の横断的調査	共同	第57回日本作業療法学会 沖縄県	○ <u>中村裕美</u> , 森正樹, 上原美子, 森田満理子, 佐野伸之	2023Nov11	
2	Development of the Easy-read version of the Japanese version of the Adult Social Care related Outcomes Toolkit	共同	International Forum on Quality & Safety in Healthcare 2023 Copenhagen, Denmark	○ <u>Nakamura-TH</u> , Morikawa M, Moriyama Y, Shiroiwa T	2023May17	
3	高齢者における軽度認知障害の経時的変化に身体活動量と環境要因が及ぼす影響: 潜在曲線モデルによる縦断データの分析(口述スペシャルセッション優秀演題賞)	共同	第57回日本作業療法学会 沖縄県	○ <u>中村裕美</u> , 田中康平, 坂井仁哉	2023Nov12	
4	勤労者役割面接と勤労者環境影響尺度の尺度特性の検討	共同	第57回日本作業療法学会 沖縄県	○島崎翔子, <u>中村裕美</u> , 京極真	2023Nov11	

5	脳卒中在宅要介護者と家族介護者の社会的ケア関連QoL	共同	第82回日本公衆衛生学会 会 茨城県	○塩田将, <b>中村裕美</b>	2023Oct
---	----------------------------	----	--------------------------	-------------------	---------

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	社会的ケアを要する高齢者の在宅生活維持に資するQOL規定因子の実証的解明	研究代表者	2020.4～2024.3 (2025.3まで延長)
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）	地域包括ケアのアウトカムとしてのケア関連QOLの測定と応用に関する研究	研究分担者	2020.4～2024.3 (2025.3まで延長)
3	公益財団法人ダイオーズ記念財団 2024年度助成金	就労支援を受ける人々の勤労役割に関する心理社会的要因を測定するアウトカムの妥当性と信頼性の検証	研究代表者	2024.1～2024.12
4	National Research Foundation of Korea (NRF)	Developing and Comparing a Cross-National Disability Measure for Older Adult Populations across Korea, China and Japan	研究分担者	2021.1～2025.12

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	高齢期作業療法学	○	7	感染症対策の徹底から 遠隔システムを用いた授業とした 指定した教材のうち授業担当者が執筆した章を詳細に説明した
2	保健医療福祉学際英語（大学院博士前期課程）	○	12	履修者の研究テーマに即して教材を構築し 履修者の質問や要望に沿う形式で実施した
3	リハビリテーション基盤実践学特論（大学院博士前期課程）		5	アップデートされた国際指針（CONSORT, STROBE, COSMIN, PRISMA-MA, PRISMA-Ex）に基づき 研究デザインに注力した授業を展開した
4	IPW論（専門職連携実践論）②（大学院博士前期課程）	○	8	科目責任者として分担者の授業も含めて 授業担当者の直近の刊行論文をマテリアルとして使い クライエントのアウトカムを改善するための手段としての多職種連携のあり方を紹介した
5	行動神経作業療法学特論（大学院博士前期課程）		5	国際学術誌から質の高い論文を教材に用いて 研究デザインと解析方法に焦点化して概説した
6	心身機能作業療法論（大学院博士前期課程）		5	国際学術誌から質の高い論文を教材に用いて 研究デザインと解析方法に焦点化して概説した
7	IPWシステム開発論（専門職連携実践論）②（大学院博士後期課程）	○	8	科目責任者として分担者の授業も含めて 授業担当者の直近の刊行論文をマテリアルとして使い クライエントのアウトカムを改善するための手段としての多職種連携による論文刊行を説明した
8	リハビリテーション教育学2		3	日本作業療法士協会および日本理学療法士協会が定める臨床実習の手引きを確認した。またクリニカルリーズニングと客観的臨床能力試験の教育としての用い方について、最新の国際学術雑誌に公刊された案件を用いて説明した。

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床作業療法学技能演習	○	30	感染症対策を徹底した演習を行い 臨床家を登用した客観的臨床能力試験 (Objective Structured Clinical Examination: OSCE)を運営した 当該科目では作業療法学科として唯一している科目であり教材もオリジナルを構築して毎年精錬している
2	高齢期作業療法学演習	○	15	高齢期のクライアントの大半が認知機能障がい呈している現状に鑑み 認知機能障がいをもつ人々への作業療法の時間を倍増させた
3	IPW演習		15	他大学の医学部学生も参加したため その学生が疎外感を感じない様ファシリテーションを行った また遠隔対応となったため 学生が時間を有効活用できるように かつ学生が主体的に取り組めるよう支援した
4	リハビリテーション学演習 (行動神経作業療法学) (大学院博士前期課程)		5	国際学術誌から質の高い論文を演習の教材に用い 履修者がトレースできるようにマテリアルを構築した
5	心身機能作業療法演習 (大学院博士後期課程)		5	国際学術誌から質の高い論文を演習の教材に用い 履修者がトレースできるようにマテリアルを構築した
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨地体験実習 (高齢期・発達期)	○	2023.4.1-2024.3.12	COVID19の影響により種々の配属形態が生じた そして臨地実習組織への配属が中断となった学生に対する代替措置として 臨床家を複数登用し 学習コンテンツを作成した なお臨地実習終了後の事例検討会には 臨床家と協業して作成した事例を用い グループ毎に異なる事例を検討した
2	臨地総合実習 (身体機能領域)		2023.4-8	臨地実習組織に配属となった学生について その臨地実習指導者との情報交換を行った
3	臨地総合実習 (精神機能領域)		2023.4-8	臨地実習組織に配属となった学生について その臨地実習指導者との情報交換を行った 実習終了後のセミナーでは学生の発表内容やレポートに即して成績評定を担当した
4	臨地体験実習 (精神機能領域)		2023.8-9	臨地実習組織に配属となった学生について その臨地実習指導者との情報交換を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2023.4~2024.3	主指導 (指導教員) 2	副指導 (指導補助教員) 0
2	博士論文	2023.4 - 2024.3	主指導 (指導教員)	副指導 (指導補助教員) 1
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	博士後期課程特別研究	2023.4 - 2024.3	特別研究発表会での質疑	
2	博士前期課程特別研究	2023.4 - 2024.3	特別研究発表会での質疑	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市介護給付等の支給に関する審査会	委員		2023April-2024March

2	豊島区WHOセーフコミュニティ推進室	オブザーバー	2023April- 2024March
3	QS Intelligence Unit for QS World University of the annual QS Global Academic Survey	レフェリー	2023April- 2024March
4	British Journal of Occupational Therapy	国際学術誌編集委員	2023April- 2024March
5	The Royal College of Occupational Therapist annual congress and expo	英国作業療法士協会年次学術集会演題査読委員	2023April- 2024March
6	Gerontological Occupational Therapy in Frontiers group	国際学術誌編集委員	2023April- 2024March
7	Clarivate Accelerating innovation US News Best Global University Ranking	レフェリー	2023April- 2024March
8	Scholarly Research Services Survey	レフェリー	2023April- 2024March
9	OTJR: Occupation, Participation and Health	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
10	International Journal of Rheumatic Diseases	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
11	THE's Global Academic Reputation Survey: Times Higher Education World University Rankings	レフェリー	2023April- 2024March
12	European Early Childhood Education Research Journal	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
13	Gerontological Occupational Therapy in Frontiers group	国際学術誌編集委員	2023April- 2024March
14	日本作業療法士協会学術誌作業療法	査読者	2023April- 2024March
15	日本作業療法士協会学術集会	作業療法士協会年次学術集会演題査読委員	2023April- 2024March
16	The Evaluation and the Health Professions	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
17	Health and Quality of Life Outcomes	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
18	MDM Policy and Practice	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
19	Journal of Child and Family Studies	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
20	BMC Psychology	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
21	Work: A Journal of Prevention, Assessment and Rehabilitation	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
22	Occupational Therapy International	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
23	Frontiers in Rehabilitation Science	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
24	Newcastle University	A post-doctoral supervisory role	2023April- 2024March
25	Yonsei University	OT BK21 mentoring board	2023April- 2024March

26	Asia Pacific Occupational therapy Congress	国際学術集会演題査読委員	2024Jan-2024Feb
27	Journal of Nursing Science	国際学術誌レフェリー	2023April- 2024March
28	Griffith Unversity	クライアント中心主義モデルのワーキンググループへの招聘参加	2023April-Sep
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入学試験のために任命された役割の遂行	2023April- 2024March
2	全学的委員会及びセンター業務等	院試のために任命された役割の遂行	2023April- 2024March
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会委員として 特に大学院審査会の在り方や 教員や院生に投稿先として奨励できる国際学術誌リストを提案した	2023April- 2024March
4	国際交流活動	担当するZurich University Applied Sciences(ZHAW) の担当者との情報交換に努め 現地開催プログラムについて説明会を3回開催した	2023April- 2024March
5	国際交流活動	共同研究者であるベルギーの公立大学の看護学科教員の日本開催の国際学会来日に合わせて 全学部学生対象の特別講演を開催した	2023April- 2024March
6	全学的委員会及びセンター業務等	オープンキャンパスのために任命された役割の遂行	2023April- 2024March
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	最優秀演題賞 (共同演者)	第57回日本作業療法学会 沖縄県	2023Nov
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		